

みやぎGPNニュース



今回の
内容

- 話題提供 6月のテーマは、「資源循環」
- こーぷの森七ヶ宿植林体験レポート
- SDGsに関連した製品紹介・新会員紹介

2022.6

Vol.21

★循環型社会(地下資源・地上資源)

事務局長 海藤節生 (NPO法人水守の郷・七ヶ宿理事長)



私たちの生活や産業を支えている資源は、地球上に限られた量しか存在しない「枯渇性」の資源と、太陽エネルギーにより繰り返し生産できる「再生可能」な資源に分けることができます。現代の豊かな社会の礎となっている化石燃料や金属・鉱物は、代表的な枯渇性資源です。写真はインジウム。ITO (Indium Tin Oxide) と略称され酸化インジウムスズとして、導電性があるのに透明であることから液晶やプラズマといったフラットパネルディスプレイの電極(透明導電膜)に使われています。このインジウム1999年(平成11年)度産出量89トン、世界の30%を占め、世界第1位であった国がどこかわかりますか？今も世界第3位の産出国は何と日本なのだそうです。

この枯渇性の資源は「地下資源」と呼ばれ、地中に埋蔵されている鉱物と化石となった有機物のうち、人間の経済活動で燃料として用いられるものの総称です。地下から取り出すためにはそれなりの施設・設備を必要とし、固体であれば穴を掘ることになり、この施設が鉱山です。液体ないし気体の場合には、管を通してくみ出します。その施設がガス田や油田です。施設を作るためには木を切り自然に何某かの手が加えられ、また工業用水も必要となります。人間活動のために行われるためこれが「開発」と表現され、今でいう「持続可能な開発」と表現されるに至ったのでしょう。世界の人口増加や近代化によりさらに必要とされる地下資源は「枯渇性」の資源です。相対して近年、都市鉱山などと呼ばれる人間社会から排出されたものや、有機性(バイオマスと呼ばれる)未利用資源は、地上資源といわれます。「再生利用」「資源再生」「再資源化」「再生資源化」などと訳されるリサイクル(廃棄物等の再生利用)と自然界の未利用資源の活用という2つの観点ですべてのものを資源と捉え、暮らしの中で持続可能なライフスタイルを実行していきましょう。



★こーぷの森七ヶ宿・植林体験会レポート:主催みやぎ生活協同組合

令和4年5月14日土曜日



令和4年5月14日土曜日、参加者82人(関係者も含めると121人)、みやぎGPNからも14名が参加し、七ヶ宿町で開催された「こーぷの森七ヶ宿」植林体験会が開催されました。参加者は、3つのグループに分かれ区切られたエリアにアオダモ、コブシ、イタヤカエデなど10種類約500本の苗木が植えられました。唐鍬(とぐわ)を使って腐葉土をおこし地拵えを行います。でも石があって思うように作業が進みません。時間内に終わらないかな？とも思いましたが見事すべての苗を植え記念撮影です。

国内の木材需要が高まり、宮城県内でも人工林の伐採が急速に進んでいます。しかし植える面積は大幅に減少しています。

伐採後に植林しない天然更新(天然更新とは、森林の伐採後、植栽を行わずに、前生稚樹や自然に落下した種子等から樹木を定着させること)に任せる方法が近年とられるようになり、しばらくは土と残置木材が散在する姿を見せられます。森林は吸収源として重要な役割を担っています。更に気候変動による豪雨災害から私たちの暮らしを守る機能も併せ持ちます。これからは再生可能な地上資源として有効活用していくことが求められてきます。「一本の木を見ればその木が育った森の姿がわかり、森を見ればそこに住む人の有りようが分かる」といわれてきた日本人の姿。森と共にある暮らし考えていきたいと思います。



★製品紹介(洗剤)for SDGsNO.14 エコクイーン (株)エコライフサポート

人間の活動によって産業排水や生活排水が発生し、河川に排出されることにより流れ込んだ「窒素やリン」が水中の植物プランクトンの栄養となり富栄養化の原因に挙げられます。富栄養化原因物質の発生割合は地域により違いがありますが、横浜市内を例にとると、窒素は、生活排水60%,工場排水20%,農業・畜産・その他排水20%、リンは、生活排水50%,工場排水30%,農業・畜産・その他排水20%となっています。発生割合の最も大きい生活排水中の発生割合は、窒素が、トイレ約80%,台所・洗濯などの雑排水20%、リンが、トイレ約70%、雑排水30%となっています。無リン洗剤が主流とはおりましたが知らないうちに川や海を汚しているのかもしれない。今回ご紹介する環境保護型多目的洗剤「エコ・クウィーン」を是非一度お試しください。



★製品紹介(トイレトペーパー)
for SDGsNO.4/NO. 12, 13
日本紙パルプ商事(株)北日本支社



脱プラスチック製品 HP

あしなが育英会 × ワンタッチノコア 「な〜がく使える」家族にやさしいトイレトロールこちらは病気、災害、自死などで親を亡くした子供たちを支援するため、「あしなが育英会」へ新しいノコア(毎日のトイレから)の売上の一部を寄付する日本紙パルプ商事の取り組みです。

また、この企業は有償廃棄される災害用備蓄食品や食べられなくなった「お米」を活用した紙の新素材「kome-kami」を2021年2月に開発。フードロス問題の解決を目標とし、売上の1%をフードバンクに寄付する取り組みも行っています。● kome-kami の3つの特徴1. 企業や自治体が廃棄する災害用備蓄のお米などを活用します。2. フードバンクに売上の1%を寄付。食品ロス問題の解決が目標です。3. SDGsが提唱する「持続可能な開発目標」の12,13の達成に寄与します。

★新会員紹介 (株)A&N INNOVATION/(株)SOLBROTHERS 不動産管理・不動産仲介・リフォーム・物件保守管理・寮の運営(寮監業務・給食業務) 代表取締役 相原健裕 仙台市青葉区昭和町5-23-402

SDGs達成に向け貢献したい強い想いを抱き今年度よりA会員として参加することになりました(株)A&N INNOVATIONを紹介しします。不動産会社というイメージと異なり、看護師・保健師等有資格者が寮監として住み込み入寮者の生活をサポートするという形態、HACCP(衛生管理マネジメントシステム)により衛生管理された家庭料理を中心とした食事を手づくりで提供しているという「モノとサービス」が一体化した事業にとっても新規性を感じました。

毎朝、海に入り無の状態から出社し仕事に励むという相原社長のご趣味はサーフィン。海を愛するサーファーたちはビーチクリーンに精を出します。いつも一緒に元気で海を泳いでいた亀がある日プラスチックごみを食べ砂浜に、変わり果てた姿で横たわっていました。どうすることもできない虚しさに変な心を痛めたそうです。省エネ診断から温暖化対策、会社ぐるみで環境負荷低減にむけ積極的に行動していきたい。強い意気込みを感じた取材となりました。



■情報発信(毎週更新) えしかるちゃんと一緒に考えよう!

世界の平和を願う国連が、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) 社会実現を誓ったSDGs。

SDGsについて理解を深め、あなたも社会を変える! 未来を変える! チェンジメーカーのひとりとして一緒に行動していきましょう。

みやぎGPN公認キャラクター! えしかるちゃん

■発行・編集 みやぎグリーン購入ネットワーク事務局

〒981-3121 仙台市泉区上谷刈三丁目10-6 TEL.022-218-5451 FAX.022-375-7797

Email: mi-green@miyagigpn.net ホームページ: <https://www.miyagigpn.net/>



☞こちらからどうぞ

■SDGs出前講座開催中 SDGs NO.12実践による企業の具体的アクション掘り起こしを一緒に考えます。

■二酸化炭素排出量算定サービス 現状を把握し、省エネに向けた取組の推進と、クレジット取引によるカーボンニュートラル達成への道筋を見つけましょう。

・ご希望の方は、みやぎグリーン購入ネットワーク事務局までご連絡ください。

